

国語科学習指導案

日 時 令和2年11月10日(火) 5校時
 学 級 2年A組(34名)
 場 所 2年A組教室
 授業者 横岡 美敬

- 1 単元名 いにしえの心を訪ねる
- 2 教材名 仁和寺にある法師―「徒然草」から (2/3)
- 3 目 標 法師の勘違いや失敗について、原因を解き明かし、助言を考えよう。
- 4 学習活動の流れ

段階	時間	学 習 活 動	◇教師の指示 ●教師の支援 ◎形態 ★評価
課題設定	8	① 前時までの学習内容を確認する。 ② 本時の学習活動についての見通しをもつ。 ③ 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 学習課題 法師とはどんな人だろう。人物像をまとめよう。 </div>	●前時に確認した「仁和寺の法師」の石清水八幡宮参拝の概略を、発言とワークシートを活用し確認する。 ◇法師の気持ちが推測できる言動を捉えさせる。 ●「心うく覚えて」「かばかりと心得て」「ゆかしかりしかど」「神へ参るこそ本意なれ」を紙板書で示す。
	35	④ 本文を音読する ⑤ 法師の勘違いの原因を考え、学習シートに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 対話と思考 </div> ⑥ 法師の性格や人柄について話し合う。 ⑦ 発表する	◎ペアで交互に音読する。 ◇歴史的仮名遣いや古典特有の言葉に留意させる。 ◎個人で作業→ペア活動で考えを整理 ●机間巡視しながら、書き出せない生徒には例を示唆していく。
まとめ	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 学習の成果 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 仁和寺の法師のエピソードから、法師の人物像を捉えている。 </div>	◎グループ交流で自分の考えを広める ◇互い捉えた法師の人柄と根拠をボードに記入する。 ◇発表者、ボードの提示者を選出 ◇自分の捉え方と比較しながら聞きあう。 ★原文の表記を根拠に自分の考えをまとめる。 ★徒然草の世界に、現代にも通じる出来事や登場人物があることに思いを持たせる。

- 5 本授業での「対話と思考」に係る構想
 ただストーリーを追うだけでなく、古文中の出来事が「もし、身近におこったら」という視点に立って思考させる。ペア→グループと対話の形態を段階的に踏ませ、古文中の表記を根拠に据え、法師の勘違いや失敗について読解させる。原文の描写からイメージし、古典中の人物の人柄や考え方に触れさせ、解釈を深めていきたい。